

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年3月17日（木）

### 2 確認箇所

- ・新事務本館2階 緊急時対策室
- ・5号機原子炉建屋
- ・使用済保護衣等一時保管エリア a
- ・Fタンクエリア

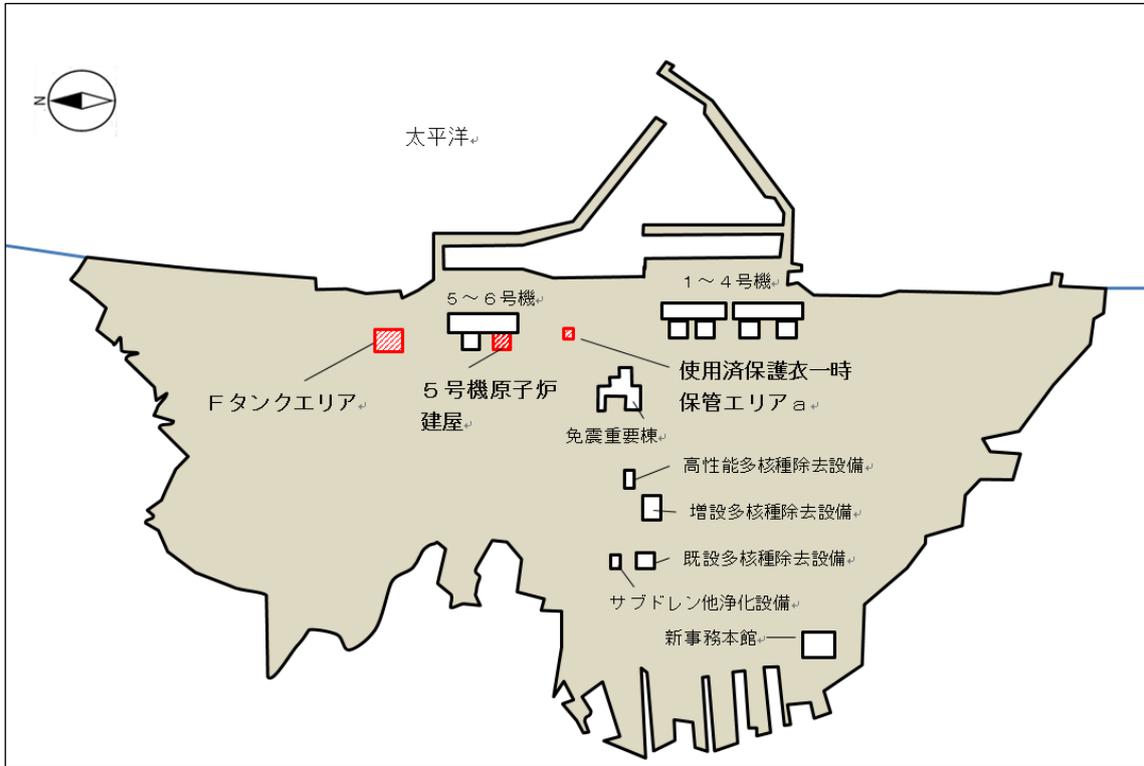
### 3 確認項目

令和4年3月16日に発生した地震後の緊急時対策本部での情報収集及び対応状況の確認

### 4 確認結果の概要

令和4年3月16日午後11時36分頃に福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生したことから、新事務本館2階緊急時対策室において、被害状況の情報収集を行うとともに構内の状況を確認した。（図1）

- ・地震発生後、1号機原子炉格納容器の圧力低下が見られるとのことから、緊急時対策室で情報収集を行った。また、格納容器圧力などプラント関連パラメータの確認を行ったところ、格納容器圧力は低い状態で推移しているものの、他のプラント関連パラメータ及び構内ダストモニタ等に異常な値は確認されなかった。
- ・5号機原子炉建屋で放射性液体漏えい警報が発生したことから状況を確認した。現場確認時、水の漏えいは継続していたが堰内に留まっていた。作業を行っていた東京電力社員によれば、水の回収準備は整ったが、分析結果次第で回収先が異なることから、結果待ちをしているとのことであった。（写真1）
- ・使用済保護衣等一時保管エリア a において、保管していたコンテナが転倒したことから状況を確認した。現場確認時、作業は行われていなかったが、4段積みで保管されているコンテナの一部で上3段のコンテナが転倒したものが確認された。転倒したコンテナの周囲には内容物が飛散していたが、その後、再度現場を確認したところ、コンテナ及び内容物は回収されていた。（写真2）
- ・5・6号機の滞留水を貯留しているFタンクエリアで水の漏えいが発生したことから状況を確認した。現場確認時、東京電力社員及び作業員が滴下した水を回収するための応急措置として、タンク側面にシート等を取り付ける作業を行っていた。また、応急措置は複数のタンクで行われていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
5号機原子炉建屋における水の漏えい状況



(写真1-2)  
回収用機材の準備状況  
(ポンプ及びホース等が準備されていた。)



(写真 2 - 1)  
使用済保護衣等一時保管エリア a の  
状況



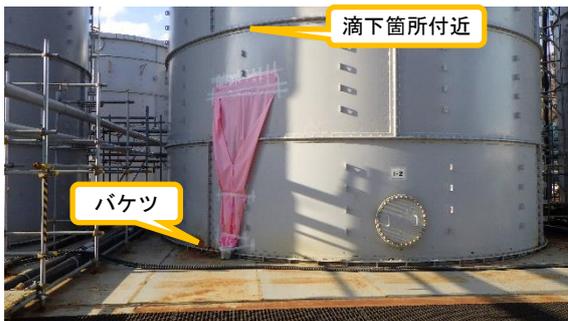
(写真 2 - 2)  
転倒したコンテナの状況  
(内容物が飛散)



(写真 2 - 3)  
コンテナ等回収後の状況



(写真 3 - 1)  
F タンクエリアの応急措置の状況



(写真 3 - 2)  
シート等取り付け後状況



(写真 3 - 3)

応急措置は複数箇所を実施

#### 5 プラント関連パラメータ確認

1号機格納容器圧力は低い状態で推移していたが、各パラメータに異常な値は確認されなかった。